

問1 約4500首もの多様な階層の歌が収められている、日本最古の歌集を何という？

1. 古今和歌集 2. 新古今和歌集 3. 万葉集 4. 懐風藻

問2 唐の長安を模して造られ、奈良時代に都が置かれた場所を何という？

1. 平城京 2. 藤原京 3. 長岡京 4. 平安京

問3 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？

1. 持統天皇 2. 推古天皇 3. 称徳天皇 4. 元明天皇

問4 聖武天皇が国分寺とともに、日本各地の女性のために建立させた寺院を何という？

1. 国分寺 2. 元興寺 3. 大安寺 4. 国分尼寺

問5 奈良時代、仏教の影響を強く受けた国際色豊かな文化を栄えさせた天皇は誰？

1. 光仁天皇 2. 称徳天皇 3. 聖武天皇 4. 元明天皇

問6 律令制度のもと、中央政府から地方に派遣されて郡司を指揮し、各地の統治を担当した役人を何という？

1. 太宰帥 2. 郡司 3. 国司 4. 里長

問7 743年に出され、開墾した土地を永久に私有することを認めることで、土地の私有化を広めた法律を何という？

1. 大化の改新 2. 三世一身法 3. 墾田永年私財法 4. 大宝律令

問8 聖武天皇が鎮護国家の象徴として建立を命じた、奈良にある寺院を何という？

1. 法隆寺 2. 東大寺 3. 興福寺 4. 薬師寺

問9 唐の進んだ政治制度を取り入れ、戸籍に基づき天皇を中心とした強力な国家体制を整えるための法体系を何という？

1. 貴族政治 2. 封建制度 3. 中央集権 4. 地方分権

問10 度重なる渡航の失敗や失明という困難を乗り越え、日本に正式な仏教の戒律を伝えた唐の僧は誰？

1. 空海 2. 行基 3. 鑑真 4. 最澄

問11 郡司が指揮下に入っていた、中央から派遣された地方長官のことを何という？

1. 国司 2. 防人 3. 郡司 4. 里長

問12 聖武天皇が鎮護国家を目的として、全国各地に建立させた官立の寺院を何という？

1. 国分寺 2. 氏寺 3. 官寺 4. 尼寺

問13 奈良時代の班田収授法において、政府が戸籍に基づき土地（口分田）を分け与える対象となったのは何歳以上の男女？

1. 15歳以上 2. 17歳以上 3. 6歳以上 4. 21歳以上

問14 唐だけでなく、シルクロードを経由して日本に影響を与えた地域の文化を何という？

1. 中央アジア 2. 西アジア 3. 東アジア 4. 東南アジア

問15 シルクロードを経て伝わった宝物や唐の工芸品が収められ、現在も東大寺にある施設は何という？

1. 東大寺 2. 大安寺 3. 興福寺 4. 正倉院

問16 東大寺にあり、当時の国際色豊かな宝物が数多く収められている施設を何という？

1. 唐招提寺 2. 法隆寺 3. 薬師寺 4. 正倉院

答え合わせ・解説

問1	答え 3 万葉集	万葉集は、奈良時代末期にまとめられた日本最古の和歌集です。約4500首という膨大な歌が収められており、中には天皇や貴族だけでなく、兵士である防人や農民といった、普段は歴史の記録に残りにくい人々の歌も含まれていることが大きな特徴です。素朴で力強い感情表現が多用されていることから、当時の人々の息吹を直接感じることができる資料です。
問2	答え 1 平城京	710年に飛鳥から遷都された平城京は、当時の中国である唐の都・長安を模して作られました。道が碁盤の目状に整備され、天皇が住む宮殿を中心に官庁が並ぶ、本格的な計画都市でした。ここを拠点として、全国の国司を指揮し、租税を徴収する律令政治が行われました。
問3	答え 1 持統天皇	日本書紀は、奈良時代の720年に完成した歴史書です。神話の時代から始まり、持統天皇の時代までの歴史を詳細に記しています。中国の歴史書の記述様式を取り入れ、非常に精緻な記録となっています。
問4	答え 4 国分尼寺	国分尼寺は、国分寺と同様に「鎮護国家」の願いを込めて建てられました。法華滅罪之寺とも呼ばれ、女性僧侶（尼）が修行を行い、祈りを捧げる場所でした。各地の国府の近くに建てられ、国分寺とともに仏教信仰の地域的拠点として重要な役割を果たしました。
問5	答え 3 聖武天皇	聖武天皇は熱心な仏教徒で、仏教による国の守り（鎮護国家）を理想としました。彼が中心となって栄えた文化は「天平文化」と呼ばれ、遣唐使を通じて唐や西域の文化を積極的に取り入れました。
問6	答え 3 国司	国司は都から派遣された貴族階級の官僚で、現地の有力者である郡司を指導し、税の徴収や戸籍の管理、治安維持を行いました。地方行政の最高責任者として大きな権力を持っていました。
問7	答え 3 墾田永年私財法	政府は、743年に「墾田永年私財法」を制定しました。これにより、新しく開墾した土地の私有が永久に認められるようになりました。それまで制限されていた土地所有が可能となったため、人々は競って開墾を行い、生産性を高めようとしていました。
問8	答え 2 東大寺	東大寺は、743年の大仏造立の詔により、聖武天皇が中心となって建立されました。この寺は全国の国分寺の総本山としての役割を担い、鎮護国家の象徴として位置づけられました。完成した大仏は、当時の人々の信仰心を集め、国家統一の精神的な拠り所となりました。
問9	答え 3 中央集権	唐の律令制度を模範として、戸籍を作成し、国司を地方に派遣して全国を支配する体制を整えました。天皇が全権を握り、官僚を通じて地方まで法律や税を平等に行き渡らせる政治構造です。
問10	答え 3 鑑真	唐の僧である鑑真は、日本の僧からの熱心な招聘に応じ、5度もの遭難や失明という苦難を乗り越えて、6度目の来日を果たしました。日本に正しい仏教を伝え、多くの僧に戒を授けたほか、平城京に唐招提寺を建てて修行の場としました。
問11	答え 1 国司	国司は、中央政府の意向を地方へ伝え、郡司を管理することで徴税や戸籍管理を行いました。郡司の実務を監視し、定期的に中央へ報告する義務がありました。
問12	答え 1 国分寺	国分寺は、聖武天皇が全国60余国に命じて建てさせた寺院です。各国の国分寺と国分尼寺は、東大寺を総本山とするネットワークの一部として機能しました。これにより、地方にまで仏教の教えと国家の影響を浸透させ、仏の力で国の安定を図りました。
問13	答え 3 6歳以上	戸籍（庚午年籍など）を6年ごとに作り直し、6歳以上の男女に対して、身分や性別に応じた広さの口分田を貸し出しました。この制度により、政府は確実な徴税を目指しました。
問14	答え 2 西アジア	日本が派遣した遣唐使を通じて、唐には西アジアのペルシャ文化やインドの仏教美術などが流入していました。それらは日本にも伝わり、東大寺の正倉院に収められている宝物の中に、ガラス器や独特の模様が施された品々として確認できます。
問15	答え 4 正倉院	聖武天皇が亡くなった際、光明皇后が天皇をしのいで東大寺に奉納した品々を収めた校倉造りの建物です。楽器や鏡、美術品など、当時の国際交流を物語る非常に貴重な宝物が数多く保管されています。
問16	答え 4 正倉院	正倉院は校倉造という独特の建築様式で建てられ、湿度の変化に応じて木材が伸縮することで内部の環境を一定に保つ工夫がなされています。ここには、天皇の愛用品だけでなく、当時の楽器や文書、世界各地からの貢ぎ物など、天平文化の粋が集められています。